

教 員 個 人 調 書

履 歴 書			
フリガナ	カワサキ タロウ	性別	写真貼欄 縦4cm×横3cm
氏名	河崎 太郎	男	
生年月日	〇〇〇〇年〇〇月〇〇日 (〇〇歳)		
現住所	〒597-0104 大阪府貝塚市水間158		
連絡先	072-446-6700 / Mail: abcde@kawasakigakuen. ac. jp		
学 歴			
年 月	事 項		
〇〇〇〇年〇月	〇〇立〇〇高等学校〇〇科 卒業 (高校卒業年月から記入する。)		
〇〇〇〇年〇月	〇〇大学〇〇学部〇〇学科 入学		
〇〇〇〇年〇月	〇〇大学〇〇学部〇〇学科 卒業		
〇〇〇〇年〇月	◎◎大学大学院〇〇研究科〇〇課程〇〇専攻 入学		
〇〇〇〇年〇月	◎◎大学大学院〇〇研究科〇〇課程〇〇専攻 修了		
〇〇〇〇年〇月	(短期大学, 専門学校, 専攻科, 中途退学についても記入する。)		
〇〇〇〇年〇月	理学療法士免許 (第〇〇号)		
〇〇〇〇年〇月	博士 (〇〇学) の学位授与 (〇〇大学第〇〇号) (外国での資格については, 原語で記載する。)		
職 歴			
年 月	事 項		
〇〇〇〇年〇月	〇〇病院〇〇部 理学療法士 (〇〇〇〇年〇月まで)		
〇〇〇〇年〇月	〇〇大学〇〇学部 助教 (〇〇〇〇年〇月まで)		
〇〇〇〇年〇月	〇〇大学〇〇学部 講師 (〇〇学) (〇〇〇〇年〇月まで)		
〇〇〇〇年〇月	◎◎大学◎◎学部 准教授 (◎◎学) (〇〇〇〇年〇月まで)		
〇〇〇〇年〇月	〇〇病院〇〇部長 (〇〇〇〇年〇月まで)		
〇〇〇〇年〇月	〇〇大学〇〇学部 教授 (〇〇学) (現在に至る)		
	臨床経験: 〇年〇ヶ月 教育経験: 〇年〇ヶ月 (臨床経験は免許取得後の年月から算出・教育経験は非常勤講師を含む。) (臨床教授等・研究生等は, 職歴欄に記載する。) (大学の教員の職歴には, 主な担当科目を () で付記する。)		
学 会 及 び 社 会 に お け る 活 動 等			
現在所属している学会		◎◎学会	
年 月	事 項		
〇〇〇〇年	< 学会活動 >		
〇〇〇〇年	〇〇学会会員 (〇〇〇〇年まで)		
〇〇〇〇年	◎◎学会会員 (現在に至る)		

〇〇〇〇年 期間は年単位で 記載する。	<社会における活動等> 〇〇委員会委員（現在に至る）		
賞		罰	
年	月	事 項	
		賞罰ともなし	
現 在 の 職 務 の 状 況			
勤 務 先	職 名	学部等又は所属部局の名称	勤務状況
〇〇大学	教授	〇〇学部	〇〇学、◎◎学を担当
◎◎大学	非常勤 講師	◎◎学部	〇〇論、◎◎論を担当
開 設 後 の 職 務 の 状 況			
勤 務 先	職 名	学部等又は所属部局の名称	勤務状況
年 月 日		上記のとおり相違ありません。	
		氏名	印

教育研究業績書		
		年 月 日
		氏名 印
研究分野	研究内容のキーワード	
人間医工学	リハビリテーション科学・福祉工学	
教育上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例	〇〇〇〇年〇月～現在	〇〇学実習において学生に〇〇を経験させることにより、〇〇の向上に効果を挙げている。
2 作成した教科書、教材	〇〇〇〇年〇月	〇〇教育にふさわしいテキストがないために、この領域における最新知見をもとに教材を作成した。
3 教育上の能力に関する大学等の評価	〇〇〇〇年〇月	学生による授業評価、「講義資料」「板書・視聴覚機材の使用」「授業進度」について特に高い評価を受け、自由記述においても9割以上の肯定意見を受けた。
4 実務の経験を有する者についての特記事項	〇〇〇〇年〇月～〇〇〇〇年〇月	理学療法士養成校からの見学実習、評価実習、総合実習の指導
5 その他		
職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格、免許	〇〇〇〇年〇月	理学療法士免許（第〇〇号）
2 特許等		
3 実務の経験を有する者についての特記事項	〇〇〇〇年～〇〇〇〇年度	〇〇市介護認定審査会 審査委員
4 その他		

研究業績等に関する事項				
著書, 学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書) 1 ○○○○○○ 2 ○○○○○○ 単著○編、共著○編 (内筆頭○編)	単著 共著	○○○○年 ○月 ○○○○年 ○月	○○○出版 総p. ○○ ◎◎◎書店 p. ○○-p. ○○	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(記載上の注意)</p> <p>①それぞれの業績の概要を200字以内で簡潔に記載すること。査読の有無を記載。</p> <p>②共著の場合、概要及び分担課題の内容を200字以内で簡潔に記載すること。また、共著者名は、全員記載すること。ただし、多数の共著者がいる場合は、本人の名前が出てくるまで記載し、以下の共著者は「他○名」と記載すること。</p> <p>共著者：河崎花子、<u>河崎太郎</u></p> <p>共著者：<u>河崎太郎</u>、ほか10名</p> <p>③著書については、総ページ数を記載すること。また、共著の場合、分担した部分について、「p. ○○-p. ○○」のように記載すること。</p> </div>
(学術論文) [原著論文] 1 ○○○○○○ 2 ○○○○○○ 和文：単著○編、共著○編 (内筆頭○編) 英文：単著○編、共著○編 (内筆頭○編)	単著 共著	○○○○年 ○月 ○○○○年 ○月	○○大学紀要 ○巻(○号) 総p. ○○ ○○学会雑誌 ○巻(○号) p. ○○-p. ○○	
[総説, 報告書, 学位論文等] 1 ○○○○○○ 2 ○○○○○○ 和文：単著○編、共著○編 (内筆頭○編) 英文：単著○編、共著○編 (内筆頭○編)	単著 共著	○○○○年 ○月 ○○○○年 ○月	○○大学紀要 ○巻(○号) 総p. ○○ ○○学会雑誌 ○巻(○号) p. ○○-p. ○○	
(その他) [翻訳] 1 ○○○○○○	単著	○○○○年 ○月	○○○出版 総 p. ○○	

<p>[学会発表]</p> <p>1 ○○○○○○</p> <p>2 ○○○○○○</p> <p>国内学会：単独○編、 共同○編（内筆頭○ 編）</p> <p>国際学会：単著○編、 共著○編（内筆頭○ 編）</p>	<p>単独</p> <p>共同</p>	<p>○○○○年 ○月</p> <p>○○○○年 ○月</p>	<p>○○学会○○研究会</p> <p>第○回○○学会</p>	
---	---------------------	---	---------------------------------	--